

当プレスリリースは株式会社マクニカ様より本日配信された内容です。重複してお送りしている場合がありますが、何卒ご了承ください。

報道関係各位

2022/9/28
Trellix

マクニカ、Trellix EDR の監視サービスを提供開始 マクニカ、S&J との共同開発／お客様の運用負荷低減と専門性の高い監視を実現

XDR (Extended Detection and Response) の未来を提供するサイバーセキュリティ企業である Trellix は、株式会社マクニカ（本社：神奈川県横浜市、代表取締役社長：原 一将、以下マクニカ）が、マクニカの関連会社である S&J 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：三輪 信雄、以下 S&J）と当社との共同開発により、Trellix EDR の監視サービスの提供を開始されたことを発表いたします。

サイバー攻撃が高度化・巧妙化する昨今、これまでの境界型防御では攻撃を防ぎきることは難しく、そのため侵入されてからの対応策として多くの企業で EDR の導入が進んでいます。Trellix では長年、高い検知力と防御力を持つ EPP 製品である Trellix Endpoint Security（以下 ENS）を提供する中で蓄積してきた知見を活かした Trellix EDR を世界中で提供しています。しかしながら日本国内の多くの企業においては、セキュリティに知見のある人材の不足や 24 時間監視対応が難しいといった EDR 運用面の課題が障壁となり、導入が難航するケースが散見されています。

今回提供を開始する Trellix EDR 監視サービスは、このような課題を解決するための監視サービスです。Trellix の豊富な脅威インテリジェンスを兼ね備えた Trellix EDR に、S&J 所属のセキュリティアナリストの知見、そしてマクニカのサポート体制や製品知識を掛け合わせることで、Trellix EDR として初めての当社公認の監視サービスを提供することが可能になりました。本サービスの導入により、人材の追加確保や育成が不要になるだけでなく、アナリストからの情報提供により、よりハイレベルな運用を実現することができます。国内での導入実績も高い ENS ユーザは、他社の EDR 製品より簡単に EDR 導入・運用まで実現することが可能です。

■マクニカ、S&J 「Trellix EDR 監視サービス」特徴

- ・製品サポートから運用まで一貫した支援

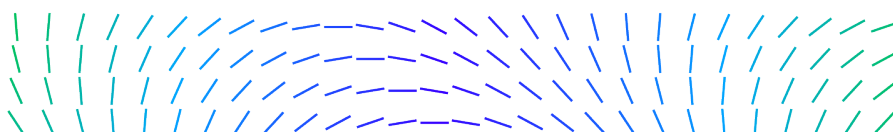
製品のサポートと運用監視をマクニカグループで総合的に支援。お客様のお問い合わせフローの煩雑化を防ぎます。またお客様のさまざまな課題に対し、横断的に、より柔軟に対応できます。

- ・24 時間 365 日監視

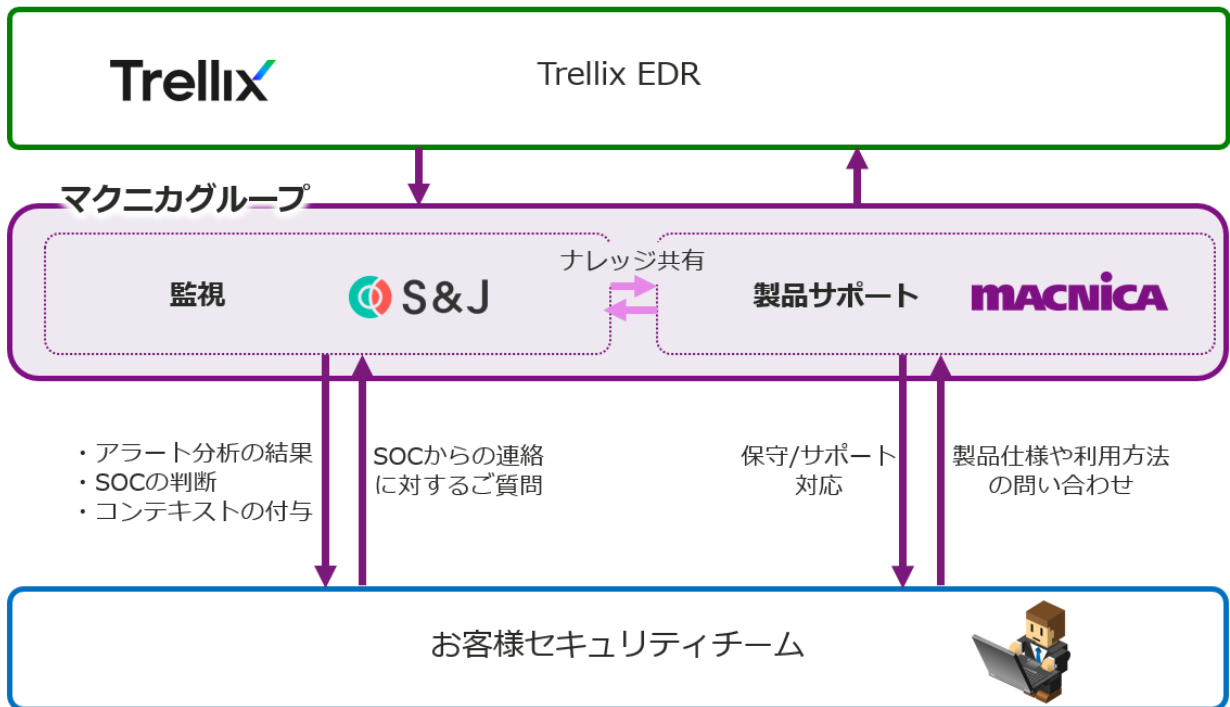
24 時間 365 日、S&J のセキュリティ分析に優れたアナリストが、Trellix EDR のインシデント重要度判断をベースに対応を実施します。そのため、お客様の運用負荷低減に加えて、より専門性の高い運用監視ができます。

- ・緊急度の高いアラートへの即時対応

発生したインシデントに対し緊急度が高いとアナリストが判断した場合、1 時間以内を目標に端末をネットワークから隔離し、検知内容の一次調査報告を実施します。早急な対応により他の端末への脅威拡大を防ぐことが可能です。



【ご提供サービスイメージ】



今回監視対象となる Trellix EDR は、他製品やインテリジェンスを活用した機能拡充を予定しています。監視サービスについてもアップデートしていきます。

本発表にあたり、下記コメントを頂戴しています。

■S&J 株式会社 代表取締役社長 三輪 信雄 氏

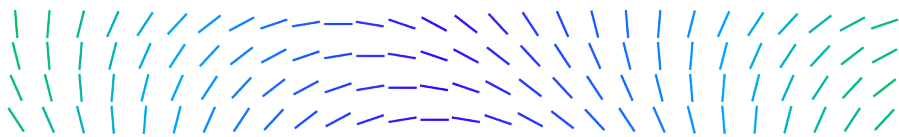
S&J 株式会社は、この度の Trellix EDR 監視サービスのリリースを心より歓迎いたします。

日本国内のお客様は、セキュリティに知見のある人材の不足や 24 時間監視対応が難しいといった運用面の課題が障壁となり、EDR の導入や運用が難航するケースが多く見られます。本サービスは、EDR 監視実績が豊富な S&J のセキュリティアナリストが、お客様に代わって 24 時間 365 日 Trellix EDR からのアラートを監視・分析することにより、お客様の EDR 運用面における課題解決を可能とするものです。導入いただくことで、お客様のセキュリティレベル向上やセキュリティ対策強化を支援いたします。

今後も Trellix、マクニカとのパートナーシップをさらに強化し、お客様に最適なソリューションを提供してまいります。

Trellix EDR について

Trellix EDR は、すべてのスキルレベルのアナリストの生産性の向上、そして継続的な監視とデータ収集を行い、脅威を検知し対応するために必要な可視性とコンテキストの提供によって効果的な調査を可能にすることで、アラートによる作業負担を軽減します。独自の機能である「Trellix Insights」は、脅威の優先順位付け、既存の対策による脅威阻止可否の予測、効果的な対策の処方について、それぞれプロアクティブな実行を可能にします。



【Trellix EDR 監視サービス詳細はこちら】

https://www.macnica.co.jp/business/security/manufacturers/sandj/trellix_edr.html

株式会社マクニカについて

マクニカは、1972年の設立以来、最先端の半導体、電子デバイス、ネットワーク、サイバーセキュリティ商品に技術的付加価値を加えて提供してきました。従来からの強みであるグローバルにおける最先端テクノロジーのソーシング力と技術企画力をベースに、AI/IoT、自動運転、ロボットなどの分野で新たなビジネスを展開しています。「Co.Tomorrowing」をスローガンに、最先端のテクノロジーとマクニカが持つインテリジェンスをつなぎ、ユニークなサービス・ソリューションを提供する存在として、社会的価値を生み出し未来社会の発展へ貢献していきます。当社は、横浜に本社を構え、世界24か国/地域80拠点をベースにグローバルなビジネスを展開しています。詳細は Web サイト (<https://www.macnica.co.jp>) をご覧ください。

S&J 株式会社について

サイバー攻撃対策システムの開発及び運用、サイバー攻撃監視やセキュリティ診断、コンサルティング、インシデント対応などのサービス提供。

S&Jは、自社開発の運用システム「SOC Engine®」により、効率的・効果的なセキュリティ運用サービスを提供しています。詳細は Web サイト (<https://www.sandj.co.jp/>) をご覧ください。

Trellix について

Trellix は、サイバーセキュリティの未来を再定義するグローバル企業です。オープンかつネイティブな Trellix の XDR (Extended Detection and Response) プラットフォームは、現在最も高度な脅威に直面するお客様が業務の保護や回復に確信を持って対応するための支えとなります。Trellix のセキュリティ専門家は、広範なパートナーエコシステムとともに、データサイエンスと自動化によりテクノロジーイノベーションを加速させ、4万を超える企業や政府機関のお客様の力となっています。

<本情報のお問い合わせ>

Trellix (McAfee Enterprise)

広報担当 戸田

Tel: 070-2680-0731

hiromi.toda@trellix.com

Trellix (McAfee Enterprise) 広報担当

LaCreta 担当: 野澤 / 近藤

Tel: 050-4560-2425

trellixjpn@lacreta.jp

